



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月13日

上場会社名 三光産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7922 URL <http://www.sankosangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井 正和

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務・経理担当 (氏名) 高橋 光弘

TEL 03-3403-8134

四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	8,442	△10.4	△70	—	△20	—	△45	—
30年3月期第3四半期	9,424	33.0	213	—	279	—	263	△9.0

(注)包括利益 31年3月期第3四半期 △137百万円 (—%) 30年3月期第3四半期 388百万円 (124.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	△7.32	—
30年3月期第3四半期	42.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	11,299	8,524	75.4
30年3月期	12,135	8,724	71.9

(参考)自己資本 31年3月期第3四半期 8,524百万円 30年3月期 8,724百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,400	△10.0	100	△46.6	130	△47.1	90	△64.4	14.53

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期3Q	7,378,800 株	30年3月期	7,378,800 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

31年3月期3Q	1,185,857 株	30年3月期	1,185,857 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期3Q	6,192,943 株	30年3月期3Q	6,193,000 株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績の改善や雇用・所得環境の改善など緩やかな景気回復基調で推移いたしました。海外においては米国と中国の貿易摩擦の長期化や、欧州情勢の不安定化など、先行き不透明な状況が続いております。また、印刷業界においては、印刷需要が減少するなか受注競争による単価の下落等により、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと当社グループは、中期経営計画（2019年3月期～2021年3月期）初年度にあたり、「顧客企業における最高のサプライヤーになる基盤を整備する」を経営の基本方針に掲げ、成長に向けた新たなチャレンジによる売上の拡大と効率化の推進による収益の改善に取り組んでまいりました。

しかしながら、当第3四半期連結累計期間の売上高は、中国セグメントにおけるタッチパネル関連製品等の受注減により8,442百万円（前年同期比89.6%）と減収となりました。

また、利益面につきましては内製化の促進、歩留率の改善等の効率化によるコスト低減に努めましたが、減収による売上総利益の減少及び人件費等の増加による販売費及び一般管理費の増加により営業損失は70百万円（前年同期は213百万円の営業利益）となり、為替差益及び受取配当金等の計上はあったものの経常損失は20百万円（前年同期は279百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は45百万円（前年同期は263百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

① 日本

タッチパネル関連製品の幅広い営業展開と、一般シール・ラベル等の受注確保のため既存取引先の深耕のほか食品関連等の新規分野への営業展開を積極的に行い、製造面については、歩留率の改善及び内製化による効率化を重点的に進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,378百万円（前年同期比114.9%）となり、セグメント利益は40百万円（前年同期は25百万円のセグメント損失）となりました。

② 中国

日本国内のグローバル営業部との連携強化により、既存得意先及び新規得意先への受注強化を積極的に行うとともに、製造面については生産効率の改善を推進してまいりました。

しかしながら、タッチパネル製品等の受注減及び急激な環境規制の厳格化による操業度の低下により、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,462百万円（前年同期比43.1%）となり、減収による工場操業度の低下等によりセグメント損失は117百万円（前年同期は231百万円のセグメント利益）となりました。なお、中国セグメントに所属する連結子会社は、光華産業有限公司及び燦光電子（深圳）有限公司であります。

③ アセアン

アセアンセグメントに所属する連結子会社サンコウサンギョウ（マレーシア）SDN. BHD. 及びサンコウサンギョウ（バンコク）CO., LTD. につきましては、日本国内外からの営業面・製造面の支援を受け、受注の増加及び製造工程の改善等を図り、業績は回復基調で推移しております。また、2018年2月に設立したサンコウサンギョウ（ベトナム）CO., LTD. については受注獲得に向け積極的な営業活動を行っておりますが、当初計画に対し未達となっております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は601百万円（前年同期比124.7%）となり、セグメント利益は11百万円（前年同期は0百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は11,299百万円となり、前連結会計年度末比835百万円減少いたしました。これは、主に、商品及び製品等のたな卸資産は59百万円増加いたしました。現金及び預金が96百万円、受取手形及び売掛金が660百万円及び当第3四半期連結会計期間末における時価評価等により、投資その他の資産その他の投資有価証券が97百万円減少したことによるものであります。

負債総額は2,775百万円となり、前連結会計年度末比635百万円減少いたしました。これは、主に支払手形及び買掛金が582百万円減少したことによるものであります。

また、純資産総額は8,524百万円となり、前連結会計年度末比199百万円減少いたしました。これは、主に親会社による配当金の支払等により利益剰余金が107百万円及びその他有価証券評価差額金が73百万円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は75.4%（前連結会計年度末は71.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、当初予想に反し中国セグメントの業績が悪化いたしておりますが、現時点では未確定な要素が多く量的に見通すことが困難であります。今後、合理的な根拠に基づく業績予想が確定次第、開示を行う予定でありますので、現時点で平成30年5月11日付公表の決算短信に記載した業績予想を変更いたしておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,073,979	2,977,604
受取手形及び売掛金	4,429,667	3,769,411
商品及び製品	331,912	372,048
仕掛品	134,671	190,932
原材料及び貯蔵品	186,994	149,777
その他	84,022	111,715
貸倒引当金	△2,600	△2,347
流動資産合計	8,238,648	7,569,142
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,784,559	2,745,397
減価償却累計額	△1,871,833	△1,838,890
建物及び構築物(純額)	912,725	906,506
機械装置及び運搬具	2,824,561	2,851,640
減価償却累計額	△2,331,245	△2,356,885
機械装置及び運搬具(純額)	493,316	494,754
工具、器具及び備品	223,439	231,352
減価償却累計額	△183,513	△187,247
工具、器具及び備品(純額)	39,925	44,105
土地	1,284,779	1,283,980
リース資産	53,332	59,574
減価償却累計額	△17,182	△23,363
リース資産(純額)	36,149	36,210
建設仮勘定	218	—
有形固定資産合計	2,767,115	2,765,558
無形固定資産		
ソフトウェア	4,994	7,626
無形固定資産合計	4,994	7,626
投資その他の資産		
その他	1,174,307	994,889
貸倒引当金	△50,040	△37,481
投資その他の資産合計	1,124,267	957,407
固定資産合計	3,896,377	3,730,592
資産合計	12,135,025	11,299,735

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,679,721	2,097,199
未払法人税等	1,368	32,811
賞与引当金	109,385	60,141
その他	277,143	294,729
流動負債合計	3,067,618	2,484,881
固定負債		
長期未払金	853	853
退職給付に係る負債	245,912	231,127
その他	96,526	58,606
固定負債合計	343,292	290,587
負債合計	3,410,911	2,775,469
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,850,750	1,850,750
資本剰余金	2,277,951	2,277,951
利益剰余金	5,219,960	5,112,698
自己株式	△1,013,866	△1,013,866
株主資本合計	8,334,795	8,227,532
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	378,030	304,251
為替換算調整勘定	11,287	△7,517
その他の包括利益累計額合計	389,317	296,733
純資産合計	8,724,113	8,524,266
負債純資産合計	12,135,025	11,299,735

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	9,424,746	8,442,529
売上原価	7,782,211	6,996,946
売上総利益	1,642,535	1,445,582
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	651,498	697,033
賞与引当金繰入額	35,738	35,598
退職給付費用	34,143	34,833
福利厚生費	132,158	137,087
その他	575,713	611,121
販売費及び一般管理費合計	1,429,252	1,515,673
営業利益又は営業損失(△)	213,282	△70,091
営業外収益		
受取利息	2,014	1,734
受取配当金	16,076	18,424
貸倒引当金戻入額	12,531	12,749
為替差益	17,518	12,707
補助金収入	3,405	3,234
その他	17,427	8,251
営業外収益合計	68,973	57,101
営業外費用		
賃貸建物減価償却費	407	407
保険解約損	—	2,657
環境対策費	—	3,300
その他	2,367	1,294
営業外費用合計	2,775	7,660
経常利益又は経常損失(△)	279,480	△20,649
特別利益		
固定資産売却益	2,400	633
特別利益合計	2,400	633
特別損失		
固定資産処分損	929	1,597
特別損失合計	929	1,597
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	280,951	△21,612
法人税、住民税及び事業税	6,700	23,439
法人税等調整額	11,290	280
法人税等合計	17,990	23,720
四半期純利益又は四半期純損失(△)	262,961	△45,333
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△851	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	263,812	△45,333

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	262,961	△45,333
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	128,984	△73,779
為替換算調整勘定	△3,490	△18,805
その他の包括利益合計	125,494	△92,584
四半期包括利益	388,455	△137,917
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	388,576	△137,917
非支配株主に係る四半期包括利益	△121	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、非連結子会社でありましたサンコウサンギョウ（ベトナム）CO., LTD. の重要性が増したため第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産のその他に含めて表示し、繰延税金負債は固定負債のその他に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	日本	中国	アセアン	合計
売上高				
外部顧客への売上高	5,550,540	3,391,879	482,326	9,424,746
セグメント間の内部売上高 又は振替高	367,821	144,018	5,258	517,098
計	5,918,361	3,535,897	487,585	9,941,845
セグメント利益又は損失(△)	△25,357	231,630	356	206,629

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	206,629
セグメント間取引消去	6,652
四半期連結損益計算書の営業利益	213,282

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	日本	中国	アセアン	合計
売上高				
外部顧客への売上高	6,378,996	1,462,095	601,437	8,442,529
セグメント間の内部売上高 又は振替高	330,181	755,707	6,367	1,092,256
計	6,709,177	2,217,803	607,804	9,534,785
セグメント利益又は損失(△)	40,156	△117,472	11,842	△65,474

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△65,474
セグメント間取引消去	△4,617
四半期連結損益計算書の営業損失	△70,091

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。